

ヘモグロビン・エイワンシー

HbA1cとは…

糖尿病は慢性的に血糖値が高くなる病気です。
HbA1cはヘモグロビン・エイワンシーと読み、
過去1～2ヵ月間の血糖値の平均を反映し、
糖尿病の診断にも使われます。

HbA1c値が6.5%以上の場合は、糖尿病が強く疑われます。



特定健診や事業主健診では、2013年4月から新しいHbA1c(NGSP)が使われます。

昨年まで使われていたHbA1c(JDS)とは、およそ0.4%違うので、ご注意ください。

これまで：JDS 値

2013年4月以降：NGSP 値

例えば **6.1%** $\xrightarrow{+0.4\%}$ **6.5%**